

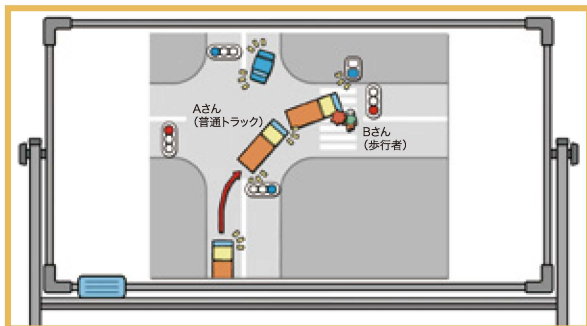
信号交差点を右折中の 横断歩道での事故

事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に
至るまでの
状況

Aさん(男性、普通トラック、50代)は、信号機のある交差点を右折しようとしていました。対向車が途切れたのを見はからい、急いで右折を開始。横断歩道上には歩行者がいないと思い込み、加速して渡ろうと思った瞬間、横断歩道を渡っていたBさん(男性、歩行者、70代)を直前で発見、急ブレーキをかけたが間に合わず衝突してしまいました。Bさんは道路上に倒れ込んで頭を路面に強く打ちつけてしまい、亡くなりました。

事故現場
略図



事故の原因

この事故は、Aさんが右折の際に対向車ばかりに気をとられ、早く右折してしまおうと焦っていたので、横断歩道を渡っていたBさんを見落としたことが原因です。また、Aさんが交差点をショートカットしたために、

Bさんの発見をより難しくしたと思われます。さらに、急ブレーキをかけても止まらない速度で進行したことも衝突の一因と考えられます。

安全運転に向けて指導のポイント

右折する車にとって、横断歩道を同じ方向から渡ってくる歩行者・自転車は、位置的には斜め後ろから来るので見えにくいものです。さらに交差点をショートカットして小回りをしてしまうと、余計に見えにくくなるでしょう。交差点中心の直近の内側(道路標識などの指定がある場合は、その指定部分)を徐行すれば、横断

歩道をほぼ直角に横切ることができ、歩行者などを見つけやすくなります。また横断歩道の手前で必ず一時停止し、通行中あるいは通行しようとする歩行者などを妨害しないようにしましょう。こうした習慣をつけ、右折時の横断歩道上の事故を防止しましょう。

今月の安全メモ!

- ・右折時、交差点中心の直近内側を徐行し、なるべく横断歩道を直角に横切るようにしましょう!
- ・通行中あるいは通行しようとする横断歩行者などがいたら、横断歩道の手前で必ず一時停止しよう!